

## 「炭素税研究会の炭素税制度設計提案 Ver5 から Ver.6 へのバージョンアップの主なポイント」

炭素税研究会

炭素税研究会による提案書の今回のバージョンアップにおける主なポイントを以下に示す。

### 【全体】

- ・記述を短くし、提言書全体のページ数を削減し、読みやすさを向上。

#### ・目的・狙い

- ・「(2) 温暖化防止型の経済・社会に」の項目を追加し、中長期的に求められる温暖化防止型の経済・社会に向け、炭素税が重要な政策となることを提示。

#### ・課税対象・税率

- ・「炭素税と現行エネルギー諸税との関係」の項目を追加し、炭素税と既存のエネルギー税制改革との関係性の整理を行った。

#### ・税収使途・減税対象

- ・税収使途の選択肢として、Ver5 では「1. 全額を減税に充当」「2. 多くを減税に充て、一部を温暖化対策費に充当」という2つの選択肢を示したが、Ver6 では「基本的に減税的な使途に充当し、一部を温暖化対策等に充てる」という選択肢に一本化した。
- ・減税的な使途の第一の選択肢として、「年金財源（年金保険料等）への充当」を提案。

#### ・産業 / 企業への措置

- ・条件付軽減・還付措置の制度に関し、「対象」「条件」「モニタリングシステム」を提示。

#### ・家庭 / 消費者・地域性への措置

- ・新たに、地域性への配慮を行う措置を追加。

### コラム「税収・使途などの金額の試算例」

- ・炭素税の制度設計案の全体像の理解・具体的なイメージ形成に資するため、新たに税収・使途などの金額の試算例を提示。

#### ・政策プロセスの見直し

- ・新たに、企画立案・実施状況評価にあたる、異なる政府部局・NGOs・企業などから構成される「グリーン税制委員会の設置」を提案。

### 補論：温暖化防止・環境保全のための税財政改革

- ・炭素税以外に必要な環境税財政改革の例を示した「補論」をより詳細化。「税財政全体」、「課税」、「財政支出」という3つの枠組みに分け、「政府方針に、環境の観点からの税財政改革実現明記」「現行エネルギー・自動車諸税税率は維持・強化」という項目を追加。さらに、地球温暖化対策費について、項目題名を「増額」から「充実・精査」に改め、内容の精査の必要性を強調し、そのための仕組みも提起。